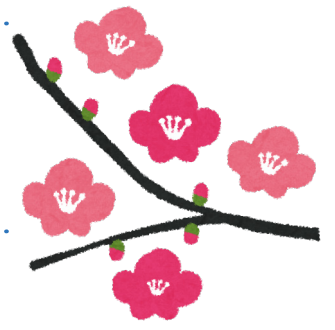




新年に寄せて

病院長 長倉 和彦



新年あけましておめでとうございます。

昨年は、ラグビーワールドカップが日本で開催され、日本代表チームの活躍はとても嬉しい出来事でしたが、一方でまれにみる規模の風雨災害が何度も日本国土を襲いました。多くの尊い命が失われ、河川、道路、住宅などの被害も甚大でした。亡くなられた皆様のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様が一日も早く元の生活に戻ることができるよ



う心より願いたいと思います。最大級の台風の

襲来によって、ワールドカップの試合が中止になることもありました。日本が歴史上初めて予選リーグを突破するというニュースとともに、自然災害の恐怖や災害にも挫けずに淡々と対処する日本人の姿が

世界中に配信されました。今年は東京オリンピックがありますが、昨年のような大きな災害がないこと、無事に開催され、多くの明るいニュースがもたらされることを願っています。

ご存じのように、現在日本では他に例がないほどの速度で高齢化が進んでいます。減少する働く世代に負担がかかりすぎないように、医療に無駄があれば省かなくてはなりません。病院を利用しておられる皆様も、例えば薬であれば後発品をなるべく利用するよう勧められているかと思います。昨年は、全国の400余りの公的病院が、再編や統合の対象となりました。急速な高齢化が進む中、病床を減らし、適切なよう将来の医療構想が練られており、医療のより一求められています。多額の経済的支援を受けている公的病院としてはやむを得ないのかも知れませんが、もちろん民間の病院や診療所も、同様に効率的な運営、内容の充実した診療が一層求められ、不要な部分は削減することが必然です。病院にとって、建物や医療機器は必須のものですが、病院はほとんど人で成り立っているといっても過言ではありません。支出の大半は人件費です。医療の大半は人の手と心で出来ており、病院における医療の本質は、優れた技術、知識と人に寄り添う心を持った人にあります。高価な医療機器も勿論必要ですが、構成する職員が技術や知識を磨き、日々努力することが、病院の進歩そのものとなります。当院はこの地域に無ければならない施設であることを、これからも示していかなければなりません。一層の努力が必要ですが、皆様の温かいご支援とご協力をいただければ幸いです。



昨年4月には、電子カルテを一新しました。さくら並木クリニックや健康診断のにしくぼ診療所とも全て統合できるシステムになり、患者様の情報が一元化されました。日本の医療保険



制度は極めて細部まで取り決められており、それらを正確に当院の事情にあった形態にするのが大変でしたが、結果として、正確な記録が患者様のためになるものと考え、努力してきました。

今年が皆様にとっても、私たちにとっても実り多い年になることを願っております。